

青い鳥のお仕事をのぞいてみよう！

～療育センター・保育士／児童指導員の場合～

<何をする人？>

療育センターの通園課では、お子さんに対して集団療育を行い、日常生活全般を支援します。ご家族に対して相談に応じたり、勉強会を開催したり、地域の幼稚園や保育所に訪問して、お子さんの様子の確認や情報交換をしたりもしています。

<支援の対象はどんな人？>

未就学のお子さんです。発達に遅れや障害のあるお子さん、運動障害のあるお子さんと、そのご家族や地域の環境(幼稚園・保育所)に対して支援します。

<どんな支援をするのか教えて！>

遊びを通して人との信頼関係の土台が作れるよう支援します。食事やトイレ、遊びやコミュニケーションなど出来ることを増やし、生活をする上で大切なスキルの向上と幅を広げます。また、お友達とのやりとりを通して社会性やルールを学ぶなど、一人一人の個別支援計画を立てて関わります。ご家族と一緒に、面談や懇談会等がかかわりの工夫を考えます。

<ある療育センターでの一日の流れ>

08:30【出勤】

「いい一日はいい朝から」をモットーに、朝は気持ちよく挨拶をして出勤します。早めに出勤して朝の時間を有効活用する人もいますが、業務としての早出出勤はありません。

08:45【始業】

通園課全体で朝の打ち合わせをし、一日の予定、お子さんの出欠やクラスでの活動を確認します。前日に発生したケガやヒヤリハットは必ず報告し、組織で共有しています。お子さんは予期しないところでケガをします。事案を共有し、気を付ける箇所を全員で確認して、再発防止に努めています。

09:00【療育準備／通園バス添乗】



数名の職員はお子さんを迎えるため通園バスに添乗します。センターに残った職員は、お子さんを安全に迎える為に、療育環境を整えます。

療育をスムーズに進行させるには、準備がカギ！活動に必要な物品をそろえたり、園庭の遊具を出したり、下駄箱周りを掃除したり…教室の床、机、おもちゃなどの消毒もしています。環境を整えたら、職員の動きやお子さんへの活動のしかたを細かくチェックします。

お子さんたちが安全に遊べるように、月に一度、大型遊具やホール等の安全点検を必ず実施しています。

10:00【療育開始】



朝の支度をしたり、トイレに行ったり各々の個別支援計画のねらいに沿った活動に取り組みます。

お子さんによって、課題は様々です。支度では、荷物を仕分けしやすいようにカゴに写真を貼ったり、自分のロッカーがわかりやすいように、色やマークをつけています。

10:30【クラス活動／自由遊び】

揺れ遊びや制作、グループ活動や運動遊びなど様々な活動に取り組みます。

机上での個別教材に取り組んだり、ホールや園庭などで体を動かして遊ぶ時間もあります。



朝の会（おあつまり）では、好きなキャラクターやパネルシアターが出てくると、身を乗り出して見えています。

日々の活動では、お子さんの「わかる！」「できる！」を大切にしています。お子さんたちの強みを生かし、ちょっとした工夫を取り入れることで、成功体験を積み重ね、達成感や自己肯定感が育めるようにしています。

他のクラスと同じ内容の活動でも、クラス毎に取り組む方法やサポートの量を変えたり、個々に合わせた活動設定をしています。（保育士・5年目）

自由遊びの玩具は1か月ごとに少しずつ変え、いろいろな玩具で遊ぶ機会が持てるように配慮しています。子ども達一人ひとり、どんなおもちゃを好きなのか見ながら個別の課題の参考にしています。（保育士・3年目）

11:30【配膳／連絡帳記入】



栄養士が栄養満点の献立を毎月作成しています。給食室で作られたおかずをお子さんに食べやすいように盛り付けたり、安全な配置を考え、配膳します。その間に連絡帳に記入したり、お子さんたちとホールなどで遊んだりします。

12:00【給食】

今年度は感染症対策をしっかりと取りながらの給食になりました。手洗いはもちろんのことビニール手袋の着用やアルコール消毒しながらの食事介助をしています。楽しく安全に食事をとること、食事のマナーを身につけることを大切にしています。

ご飯を掬って食べる練習やおかわりを要求する練習も行っています。食事場面は、意欲も高く学習しやすいお子さんが多いです。



運動障害のあるお子さんとの食事は、専門的な知識をもとにした介助が多く安全面には特に気を遣いますが、毎日の食を美味しく楽しく食べられるように、日々学びながら取り組んでいます。(児童指導員・6年目)

温かくて美味しい給食は、子ども達だけでなく、職員からも大人気！ここで1日の栄養を摂っている一人暮らしの職員も多いのでは・・・(笑)
(保育士・3年目)

お子さんが安全に食べられるよう、各専門職が情報共有しながら給食提供にかかわっています。給食室のスタッフも、クラスに入ってお子さんの食事の様子を見ます。顔を覚えてくれるお子さんもいます。
(栄養士・7年目)

13:00【活動／園庭遊び／自由遊び／帰りの支度・トイレ】

トイレに行ったり、帰りの支度をしたりします。オムツが外れていないお子さんには、トイレトレーニングを行う場合もあります。



園庭やホールに出て過ごしたり、帰りの会（おあつまり）をするクラスもあります。

遊びのコーナーを設け、色々な玩具を用意することで、家庭では触れることのない玩具で遊び、興味や関心が広がるお子さんもいます。

自由遊びの玩具は1か月ごとに少しずつ変え、いろいろな玩具で遊ぶ機会が持てるように配慮しています。子ども達一人ひとり、どんなおもちゃを好きなのか見ながら個別の課題の参考にしています。(保育士・3年目)



工程を示した表（手順書）を使って、帰りの支度をするお子さんもいます。

14:00【療育終了／通園バス添乗／（個人面談）／清掃】

帰りのバス内では、心地よい揺れにウトウト居眠りをするお子さんも…。

普段あまり関わることのできない自分のクラス以外の子ども達とも過ごせるバスの時間は、癒しの時間であり、とても楽しみな時間です。(保育士・3年目)



バスを見送った後は、部屋の掃除備品の消毒、面談、翌日の準備などに向かいます。感染症対策のため、教室の床、机、玩具など療育で使用している物は、念入りに消毒をしています。

個人面談は、親御さんに来所してもらい、お子さんの強みや課題を確認し、これからの支援について一緒に考えます。

15:00【休憩】

各々休憩をとります。



休憩中には、他のクラスの先生達と、今日あった面白エピソードを話して過ごします！普段あまり話す機会のない先生達と話ができる貴重な時間です。
(保育士・3年目)

16:00【クラスミーティング／会議】

その日の振り返りや記録作成、次回に向けた動きの確認などをクラスで行います。センター全体の委員会や係の会議や、課内会議などがある日もあります。



療育センターでは、作業療法士などのセラピストがクラスに入ることもあれば、クラスを担当する保育士が作業療法をはじめとする訓練の様子を見学することもあります。異職種・異年齢の職員が様々な場面でお子さんに関わっているので、ミーティングでの意見交換は欠かせません。職種間での連携は、一人ひとりのお子さんを多角的にとらえる機会となり、療育の質の向上につながります。

17:15【退勤】

個別支援計画の作成や行事等の時期は残業することもあります。残業をする時は前もって計画を立てて行います。ワークライフバランスの尊重のため、仕事は持ち帰らず、時間内・職場内で完結するよう取り組んでいます。(利用者の個人情報保護の観点からも、仕事を持ち帰ることは厳禁です)。育児のために短時間勤務制度や時間数有休を使い、早めに帰宅している子育て世代の職員もいます。

<他にもこんな療育を提供しています>

保育士／児童指導員は、ほかにもさまざまな形態のグループ療育に携わっています。

早期療育グループ：初めて集団療育の場を利用されるお子さんとご家族を対象に、週に一度の集団療育を実施しています。

児童発達支援事業所：集団や家庭生活において配慮が必要な年長のお子さんを対象とした、小集団療育を実施しています。